

平成30年10月以降、計6回開催してきた高架下活用勉強会ですが、これまでの参加者から勉強会の企画募集を行ったところ、DIYリノベをテーマとした企画が採用されました。第7回目となる今回の勉強会は、応募者である阿久津さんが主体となり開催され、合計26名の参加者とともに大野城の場づくりの可能性を考える勉強会となりました！



リノベーション企画のきっかけ

「大野城市には活動の拠点となる場がないよね」という多くの声を耳にした阿久津さんは、「大野城市での拠点づくりを实践したい！」という思いが生まれ、今回の勉強会を企画したのだそうです。第2回に開催した久留米の「Chietsuku,Pjt」の事例を学ぶ勉強会が縁となり、半田満さんを講師にお招きすることとなり、今回の勉強会が実現されました。

DIYリノベとは

“DIYリノベ”とは、古い物件を活かし、好きな暮らしや好きなまちを自分たちの手で創るという考え方です。こ

開催概要

日時：2019.11.25（月）

場所：れんたるるーむいろは

当日のプログラム

【第1部：勉強会】13:00～15:00

◇趣旨説明

◇半田さんによるレクチャー

◇質問タイム

【第2部：交流会】15:00～16:00

◇意見交換

講師：半田満さん

マチとつながる賃貸アパート『H&A Apartment』の運営を中心に、賃貸物件・店舗のリノベーション、DIYワークショップの企画・運営を行う。「Chietsuku,Pjt」「久留米移住計画」などのプロジェクトにも参加。

司会：阿久津周平さん

靴工房でくたく

のDIYリノベという取組みが、福岡を初めムーブメントとなり、九州各地で活動の場が広がっているそうです。半田満さんは、お兄さんである半田啓祐さんとともに「久留米市のリノベ兄弟」として知られ、『H&A Apartment』の運営をはじめ、久留米を拠点に活動されています。『H&A Apartment』の活動は、自社の物件の空室対策として始めたリフォームがきっかけだったそうですが、住民が利用できる家庭菜園をつくってみると、住民同士のコミュニケーションが生まれ、住民たちが住み良いアパートづくりに自発的に取り組むようになったそうです。現在ではアパートだけでなく周辺の地域を巻き込む、まちづくりの活動へ波及しています。やりたいことを小さく始めてみると、面白がってくれる人や共感者が生まれていき、参加してくれる人が増えたのだそうです。

DIYリノベのメリット

あるものを活かし新しい価値を生み出すリノベーションの中に、DIYを取り入れることで、作る過程で参加者の愛着が生まれていき、なおかつ工事費が安い、途中で変更しやすい、手作り感がある、などのメリットもあるそうです。つくる過程でファンができることで、結果として参加した人々から情報が発信され、プロモーション効果も期待されるそうです。ちなみに、DIYの方法はYoutubeで検索したり、ホームセンターで尋ねてみると情報が得やすいそうです。



▲ 交流会での意見交換の様子

事後アンケートの意見

【印象に残った言葉、内容】

- DIYでつくると愛着がわく。交流が生まれる。
- やりたいことを小さく実現する。
- 場づくりをエリアで考える。場づくりに関わる人たちと共通した想いや軸を持たないと崩壊する。等

【新たに生まれた疑問】

- 一緒にやりたいと言う仲間がどんどん増えた場合の意思決定手段。
- 宣伝方法、人集めの仕方について、継続の仕方。
- DIYワークショップに参加して知識を身につけたい。等